

大牟田市に関する、さまざまな出来事を写真とともに紹介します。

※撮影の時だけ一時的にマスクを外していただいています。

まちかどレポート

大牟田市の刀剣にまつわる歴史と魅力を探る

大牟田市は、天下五剣に数えられる名刀を生み出した名工「三池典太光世」が鍛冶場を構え、後に三池派と呼ばれる刀鍛冶がたくさんの名刀を生んだまちです。また、三池派の流れではありませんが、現在も4名の刀匠が存在し、新たな刀が作り続けられている刀剣のふるさとです。この歴史を学ぶ「三池の刀が切り開く大牟田の未来」と題したイベントが、10月から11月にかけていろいろな場所で開かれ、多くの方が、本市にまつわる刀剣の魅力を楽しみました。



刀剣展示会（三池地区公民館）



九州国立博物館で行われた公開講座「刀匠と語る三池刀の魅力」

秋晴れの下、宮原坑は多くの人でにぎわいました



多くの人に参加した工事現場特別見学会

宮原坑フェスタ2022が11月3日、宮原坑で開催され、親子連れなど多くの人でにぎわいました。ステージイベントや食のブース、ものづくり体験コーナーなど、さまざまな催しが行われるなか、耐震工事が行われている巻揚機室の特別公開には多くの人に参加し、普段見ることができない工事の様子に興味深く見入っていました。



三池工業高校のミニ炭鉱電車は大人気



認知症の人が行方不明になっても

第19回ほっとあんしんネットワーク模擬訓練が11月13日、市内各所で行われました。認知症の人が行方不明になったと想定し、参加者は情報伝達から声掛け、通報などの流れを訓練しました。

訓練に参加した中友小学校5年生の西川徠翔さんは「事前に練習したとおり、優しく丁寧に声掛けすることができました。現実にそんな場面に出会っても、がんばって声掛けします」と話しました。



第70回記念全国青年大会出場へ

9月に開催された福岡県民スポーツ大会バスケットボール競技において、大牟田市が青年女子の部で優勝、青年男子の部で準優勝したことから、福岡県代表として全国大会に出場することになり、関市長に報告しました。青年女子の部のキャプテン原口さんは「1勝でも多く勝ちたい」と力強く抱負を述べました。



新「子どもおおむた大使」誕生

年に2回実施している「子どもおおむた検定」で5回の全問正解を達成した銀水小学校5年生の松延季咲さんが、12人目の「子どもおおむた大使」に認定されました。松延さんは「私の知った、感じた『大牟田の宝』を多くの人に広げていきます」と思いを語りました。



全国初！ 株式会社モスフードサービスと 食育推進に係る連携協定を締結

本市の食育に関する実践力の向上を図るため、株式会社モスフードサービスと食育推進に係る連携協定を締結しました。締結式では、市内小学校を代表して玉川小児童に食育の副読本が贈られました。今後玉川小学校では、モスの食育プログラムを活用し、地元の食材を使ったハンバーガーを考える予定です。



大牟田を担う子どもたちが たくさんのお本に出会えるように

女性の地位向上や青少年の健全育成のために活動する「国際ソロプチミスト大牟田」が結成45周年を記念し、市立図書館へ寄付をしました。同団体の古賀淑子会長は「直接触れられる『図書』が最も子どもたちのためになると考えました。喜ばれる本を買ってもらいたい」と話しました。



3年ぶりのリレーマラソンで力走

10月23日諏訪公園で、4回目となる株式会社有明ねっとこむ主催の「FMたんとリレーマラソン」が開催されました。

1チーム10人以内のメンバーで、42.195kmを走る競技では市内外から127チームが参加し、秋晴れの中、タスキをつないで完走を目指しました。